

一般質問通告内容

(令和8年定例会3月会議)

通告番号	質問者	件名と質問の要旨
4	長谷川かおり (議席番号 4番)	<p>1. 全世代の感染症予防を進めるためのワクチン接種について</p> <p>(1) 带状疱疹ワクチン接種の現状と課題について</p> <p>令和7年度から、国の制度により65歳以上の方などを対象に带状疱疹ワクチンの予防接種が定期接種の対象になりました。带状疱疹は高齢者だけでなく働き盛りの世代にも増えており、後遺症の带状疱疹後神経痛は日常生活に大きな支障を来すといわれています。</p> <p>① 制度開始後のワクチン接種の実績と課題について伺います。</p> <p>② 50代以降を対象とする町独自の助成制度創設について見解を伺います。</p> <p>(2) 子供のインフルエンザワクチン予防接種の助成制度の創設について</p> <p>季節性インフルエンザは、子供、特に乳幼児が感染すると重い後遺症や命に関わるインフルエンザ脳症を発症する恐れがあるといわれています。</p> <p>また、学校生活を通じて感染が広がり、家庭や地域社会へ拡大することから、公衆衛生の観点からも就学期の予防接種の必要性が指摘されています。子供たちの健康を守ることはもちろん、学校・家庭・地域を通じて町民全体の健康を守るためにも、子供の予防接種への支援は重要と考えます。</p> <p>① 今年度のインフルエンザの感染状況と小中学校の学級閉鎖の現状及び行事への影響について伺います。</p> <p>② 児童・生徒の罹患数と割合、学級閉鎖の状況から考えられる予防接種の有効性について見解を伺います。</p> <p>③ 子育て支援と公衆衛生の観点から独自の助成制度を創設すべきと考えますが見解を伺います。</p> <p>(3) HPVワクチンの現状と今後の支援について</p> <p>子宮頸がんにつながるHPVへの感染は、HPVワクチン接種で予防できます。</p> <p>HPVは女性だけでなく男性にも影響し、中咽頭がんや陰茎がん、肛門がんの原因にもなることが知られています。</p>

通告 番号	質問者	件名と質問の要旨
4	長谷川かおり (議席番号 4番)	<p>そのため、近年では男性への接種費用を助成する市区町村もあり、男女ともに若い世代を守る取組が広がっています。</p> <p>① ワクチンの積極的勧奨の差し控えにより接種機会を逃したキャッチアップ接種対象者の公費による接種実績と課題について伺います。</p> <p>② 男女問わず将来の健康を守るため、男性への支援の在り方について見解を伺います。</p> <p>答弁を求める者 町 長</p> <hr/> <p>2. 命を守る見守り体制と救急情報連携の強化について</p> <p>独居高齢者の増加や地域のつながりの変化により、自宅で倒れ発見が遅れるケースや、救急搬送時に必要な医療情報が共有されにくいという課題が指摘されています。</p> <p>緊急通報システムとマイナ救急は、こうした「発見の遅れ」や「情報不足」を防ぎ、町民の命を守るために欠かせない仕組みです。</p> <p>また、医療機関との連携をさらに強めていくことが重要ですが、現状と課題について伺います。</p> <p>(1) 緊急通報システムの設置数、申込数、課題について</p> <p>(2) 孤立死の実態について</p> <p>(3) 救急搬送時の搬送先選定の基準の現状と課題について</p> <p>(4) 救急現場でのマイナ救急利用実績と効果、医療機関との連携状況及び運用上の課題について</p> <p>答弁を求める者 町 長</p>